

1. 構造名：

人造鉱物繊維断熱材充てん・木繊維混入セメントけい酸カルシウム板・硬質木片セメント板表張・強化せつこうボード重裏張・軽量鉄骨下地外壁／吹付けロックウール合成被覆／鉄骨はり

2. 仕様の寸法：

仕様の寸法を表 1 に示す。

表 1 仕様の寸法

項 目	仕 様
はり	断面寸法：200×100×5.5×8mm以上
外壁	厚さ：216mm以上
外壁とはりの間隔	200mm以下

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表 2 に示す。

表 2 仕様の主構成材料

項 目	仕 様
はり	材料：①～⑤の一 ①一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) SS400、SS490 ②建築構造用圧延鋼材 (JIS G 3136) SN400、SN490 ③溶接構造用圧延鋼材 (JIS G 3106) SM400、SM490 ④溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材 (JIS G 3114) SMA400、SMA490 ⑤表 4 に示す①～④の JIS 鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材 ただし、⑤は建築基準法 37 条第二号に適合するものに限る。
胴縁 (一般部)	材料：①又は② ①一般構造用軽量形鋼 (JIS G 3350) 断面寸法：C-100×50×20×2.3mm 以上 ②一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466) 断面寸法：□-100×50×2.3mm 以上 胴縁間隔：910mm 以下
胴縁 (外装下地材縦目地部)	材料：①又は② ①一般構造用軽量形鋼 (JIS G 3350) 断面寸法：C-100×50×20×2.3mm 以上×2 本 ②一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466) 断面寸法：□-100×100×2.3mm 以上

つづく

外装材	<p>構成：(1)～(3)</p> <p>(1) 木繊維混入セメントけい酸カルシウム板</p> <p>組成(質量%)：</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>セメント質原料(セメント、けい酸質原料等)</td> <td>65～86</td> </tr> <tr> <td>有機質繊維(木繊維、木片、木質系繊維)</td> <td>15(±2)</td> </tr> <tr> <td>有機質混和材(パルプ粉、撥水剤、ポリエチレンビーズ、有機質高分子等)</td> <td>3(±1)</td> </tr> <tr> <td>無機質混和材(マイカ、硬化剤、無機質骨材等)</td> <td>4～15</td> </tr> <tr> <td>無機質系繊維(ガラス繊維等)</td> <td>0～1(±1)</td> </tr> </table> <p>密度：1.15(±0.2)g/cm³</p> <p>(2) 塗料(表面及び裏面)</p> <p>種類：①～⑥の一</p> <p>① アクリルウレタン樹脂系塗料</p> <p>② アクリル樹脂系塗料</p> <p>③ アクリルシリコン樹脂系塗料</p> <p>④ フッ素樹脂系塗料</p> <p>⑤ エポキシ樹脂系塗料</p> <p>⑥ ポリシロキサン樹脂系塗料</p> <p>塗布量：200g/m²以下(有機質固形分量)</p> <p>(3) 水密材</p> <p>仕様：あり又はなし</p> <p>材料：合成ゴム</p> <p>使用量：5g/m以下</p> <p>形状：(1)～(4)</p> <p>(1) 外形寸法</p> <p>厚さ：16～35mm</p> <p>働き幅：455mm</p> <p>(2) 端部形状(サイディング上下接合の重なりと隙間)</p> <p>重なり：15mm以上</p> <p>隙間：3mm以下</p> <p>(3) 断面形状</p> <p>最小板厚：11mm以上</p> <p>容積欠損率(但し、板厚16mmを超える場合は裏面から16mmの位置での欠損率とする。)：11%以下</p> <p>(4) 表面形状：①又は②</p> <p>① エンボス・溝加工</p> <p>② 平滑</p> <p>張り方：横張</p>	セメント質原料(セメント、けい酸質原料等)	65～86	有機質繊維(木繊維、木片、木質系繊維)	15(±2)	有機質混和材(パルプ粉、撥水剤、ポリエチレンビーズ、有機質高分子等)	3(±1)	無機質混和材(マイカ、硬化剤、無機質骨材等)	4～15	無機質系繊維(ガラス繊維等)	0～1(±1)
セメント質原料(セメント、けい酸質原料等)	65～86										
有機質繊維(木繊維、木片、木質系繊維)	15(±2)										
有機質混和材(パルプ粉、撥水剤、ポリエチレンビーズ、有機質高分子等)	3(±1)										
無機質混和材(マイカ、硬化剤、無機質骨材等)	4～15										
無機質系繊維(ガラス繊維等)	0～1(±1)										

つづき

外装下地材	<p>材料：硬質木片セメント板(JIS A 5404)</p> <p>厚さ：15mm以上</p> <p>密度：1.1(-0.1)g/cm³以上</p> <p>端部形状：①又は②</p> <p>①切り放し</p> <p>②合いじゃくり、本実</p>
内装材用下地材	<p>材料：建築用鋼製下地材</p> <p>材質：1)～5)のー</p> <p>1)溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3302)</p> <p>2)電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3313)</p> <p>3)溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3314)</p> <p>4)溶融亜鉛ー5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3317)</p> <p>5)溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3321)</p> <p>寸法：</p> <p>スタッド 45×45×0.8mm以上</p> <p>ランナー 47×35×0.8mm以上</p> <p>振れ止め 19×10×1.2mm以上</p> <p>スタッド間隔：910mm以下</p>
断熱材	<p>仕様：あり又なし</p> <p>材料：①又は②</p> <p>①住宅用人造鉱物繊維断熱材(JIS A 9521)</p> <p>種類：1)又は2)</p> <p>1)グラスウール</p> <p>厚さ：50mm以上</p> <p>2)ロックウール</p> <p>厚さ：50mm以上</p> <p>②人造鉱物繊維保温材(JIS A 9504)</p> <p>種類：1)又は2)</p> <p>1)グラスウール</p> <p>厚さ：50mm以上</p> <p>密度：10kg/m³以上</p> <p>2)ロックウール</p> <p>厚さ：50mm以上</p> <p>密度：20kg/m³以上</p>
内装材(下張)	<p>材料：強化せっこうボード(JIS A 6901)</p> <p>厚さ：12.5mm以上</p>
内装材(上張)	<p>材料：強化せっこうボード(JIS A 6901)</p> <p>厚さ：12.5mm以上</p>
被覆材	<p>材料：吹付けロックウール</p> <p>組成(質量%)：</p> <p>ロックウール(JIS A 9504、国土交通大臣認定不燃材料：NM-8600)</p> <p>60(±5)</p> <p>セメント(ポルトランドセメント(JIS R 5210))</p> <p>40(±5)</p> <p>密度：0.28g/cm³以上</p> <p>厚さ：25mm以上</p>

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

項目	仕様
防水紙	材料：透湿防水シート(JIS A 6111) 材質：1)～3)の一、又は1)～3)の接着したもの 1)ポリエチレン 2)ポリエステル 3)ポリプロピレン 厚さ：0.2mm以下 アルミニウム層(あり又はなし) 厚さ：10μm以上 施工枚数：1枚又は2枚 単位面積質量：130(±13)g/m ² 以下(1枚又は2枚の合計質量)
外装材留金具	材料：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：幅40mm以上、高さ40mm以上(幅と高さの合計90mm以上) 厚さ：0.8mm以上 掛かり代面積：1.69cm ² 以上 上実の掛かり代面積 0.90cm ² 以上 下実の掛かり代面積 0.79cm ² 以上 取付間隔： 鉛直方向 455mm以下 水平方向 610mm以下
通気胴縁	仕様：あり又はなし 材料：①～⑦の一 ①日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、構造用集成材、造作用製材又は下地用製材 ②日本農林規格に適合する構造用単板積層材又は造作用単板積層材 ③日本農林規格に適合する枠組壁工法構造用製材又は構造用たて継ぎ材 ④日本農林規格に適合する合板 ⑤平成12年建設省告示第1452号第五号に規定する無等級材又は第六号に規定する木材 ⑥ミディアムデンシティファイバーボード(JIS A 5905) ⑦木材 寸法： 一般部 9×45mm以上 外装材縦目地部 9×90mm以上、又は9×45mm以上2列 取付間隔：610mm以下
スペーサー	仕様：(1)又は(2) (1)なし(外装材固定用留付材を使用しない場合) (2)あり(外装材固定用留付材を使用する場合) 材料：①～④の一 ①ポリプロピレン ②ポリエチレン ③ポリエステル ①～③の質量：120g/m ² 以下 ④木材

つづく

外装材目地部	<p>仕様：(1)～(4)の一</p> <p>(1)金属ジョイナー目地 材質：鋼製又はステンレス鋼製 厚さ：0.27mm以上 幅：50mm 塗装：あり又はなし 形状：a)、b)又はc) a)ハット形 b)T形 c)H形</p> <p>(2)ハット形ジョイナーとシーリング材の併用目地 ハット形ジョイナー 材質及び厚さ：(1)金属ジョイナーと同じ 建築用シーリング材(JIS A 5758) 材質：1)～7)の一 1)ポリウレタン系 2)アクリルウレタン系 3)アクリル系 4)ポリサルファイド系 5)変成シリコーン系 6)シリコーン系 7)ポリイソブチレン系 使用量：56g/m以上 (1)、(2)の目地幅：12mm以下</p> <p>(3)本実、合じゃくり目地 (4)突き付け目地</p>
中間水切り	<p>構成：(1)及び(2)</p> <p>(1)中間水切り 材質：鋼製又はステンレス鋼製 厚さ：0.27mm以上 塗装：あり又はなし 形状： 立ち上がり 40mm以上 出幅 21mm以上 垂れ部 5mm以上 目地部：15mm以下</p> <p>(2)水密材 仕様：あり又はなし 材料：①又は② ①建築用シーリング 材質：1)～6)の一 1)ポリウレタン系 2)アクリルウレタン系 3)アクリル系 4)ポリサルファイド系 5)変成シリコーン系 6)シリコーン系 使用量：25g/m以下 ②EPDM系水密材 使用量：25g/m以下</p>

つづき

力骨	材料：鉄筋コンクリート用棒鋼(JIS G 3112) 寸法：φ9mm 以上 間隔：455mm以下
メタルラス	材料：メタルラス(JIS A 5505) (防錆処理：あり又はなし) 種類：平ラス3号
内装材用下地材(ランナー)受材	仕様：(1)又は(2) (1)受金物 材料：鋼製 断面寸法：①～③の一 ①[-19×10×1.2mm 以上 ②L -20×20×1.2mm 以上 ③□-19×10×1.2mm 以上 間隔：910 mm以下 (2)吊り金物 ボルト：M8 以上 ナット：M8 以上 間隔：910mm 以下
受金物	材料：鋼製 断面寸法：①～⑤の一、又は組合せ ①厚さ 4.5×幅 85mm 以上 ②L -5×70×70mm 以上 ③[-75×40mm 以上 ④C -2.3×75×45×15mm 以上 ⑤□-2.3×50×50mm 以上 間隔：910mm 以下
留付材	外装材留金具固定用： 材料：ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：呼び径φ4×20mm以上 留付本数：1個/1ヶ所以上 外装材固定用： 材料：ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：呼び径φ3.5×35mm以上 留付間隔： 鉛直方向 455mm以下 水平方向 610mm以下

つづく

つづき

留付材	<p>外装材固定用：(増し打ち用)</p> <p>仕様：あり又はなし</p> <p>材料：ねじ</p> <p>材質：鋼製又はステンレス鋼製</p> <p>寸法：呼び径 $\phi 3.5 \times 35\text{mm}$以上</p> <p>留付間隔：</p> <p>鉛直方向 455mm以下</p> <p>水平方向 3040mm以下</p>
	<p>通気胴縁固定用：(通気胴縁を使用する場合)</p> <p>仕様：あり又はなし</p> <p>材料：ねじ</p> <p>材質：鋼製又はステンレス鋼製</p> <p>寸法：呼び径 $3.5 \times 35\text{mm}$以上</p> <p>留付間隔：610mm以下</p>
	<p>外装下地材固定用：</p> <p>材料：ねじ</p> <p>材質：鋼製又はステンレス鋼製</p> <p>寸法：呼び径 $\phi 4 \times 30\text{mm}$以上</p> <p>留付間隔：</p> <p>鉛直方向 303mm以下</p> <p>水平方向 910mm以下</p>
	<p>内装材(下張)固定用：</p> <p>材料：ねじ</p> <p>材質：鋼製又はステンレス鋼製</p> <p>寸法：呼び径 $\phi 3.5 \times 25\text{mm}$以上</p> <p>留付間隔：</p> <p>周辺部 200mm以下</p> <p>中間部 300mm以下</p>
	<p>内装材(上張)固定用：</p> <p>材料：①及び②</p> <p>①ステーブル</p> <p>材質：鋼製又はステンレス鋼製</p> <p>寸法：肩幅4mm以上、足長22mm以上</p> <p>留付間隔：300mm以下(2本/1ヶ所)</p> <p>②接着剤</p> <p>材質：酢酸ビニル系</p> <p>塗布量：200g/m²以上</p>

つづく

つづき

留付材	<p>スペーサー固定用：(スペーサーを使用する場合)</p> <p>材料：①～⑥の一</p> <p>①ブチルテープ</p> <p>②アクリルテープ</p> <p>①及び②の厚さ：0.5mm以下</p> <p>①及び②の幅：50mm以下</p> <p>③スプレーのり</p> <p>材質：スチレンブタジエンゴム</p> <p>塗布量：5g/m²以下</p> <p>④ステープル</p> <p>寸法：肩幅10mm以上、足長10(-1)mm以上</p> <p>⑤くぎ</p> <p>寸法：胴部径φ1.5×長さ19mm以上</p> <p>⑥ねじ</p> <p>寸法：呼び径φ2.5×長さ10mm以上</p> <p>④～⑥の材質：鋼製又はステンレス鋼製</p> <p>④～⑥の留付間隔：3000mm以下</p>
	<p>断熱材固定用：(断熱材を使用する場合)</p> <p>仕様：あり又はなし</p> <p>材料：①～⑥の一</p> <p>①ブチルテープ</p> <p>②アクリルテープ</p> <p>③アルミテープ</p> <p>①～③の寸法：厚さ0.5mm以下、幅：50mm以下</p> <p>①～③の留付間隔：3000mm以下</p> <p>④スプレーのり</p> <p>材質：スチレンブタジエンゴム</p> <p>塗布量：5g/m²以下</p> <p>⑤酢酸ビニル樹脂系接着剤</p> <p>塗布量：350g/m²以下</p> <p>⑥ステープル</p> <p>寸法：肩幅10mm以上、足長6mm以上</p> <p>留付間隔：3000mm以下</p>
	<p>バックアップ材固定用：</p> <p>仕様：あり又はなし</p> <p>材料：ねじ</p> <p>材質：鋼製又はステンレス鋼製</p> <p>寸法：φ4.0以上×70mm以上</p> <p>留付間隔：610mm以下</p>

つづく

つづき

<p>留付材</p>	<p>力骨固定用： 材料：①又は② ①クリップ 材質：鋼製 寸法：鋼板厚さ 1.5 以上、幅 40 mm以上 掛かり代：45mm 以上 ②溶接 溶接長さ：20mm 以上</p> <p>内装材用下地材(ランナー)受材固定用： (受金物仕様の場合) 材料：溶接 溶接長さ：10mm 以上 (吊り金物仕様の場合) 材料：吊りボルト用アンカー 仕様：(1)又は(2) (1)打ち込み式 (2)インサート式 寸法：M8 以上</p> <p>受金物固定用： 材料：①又は② ①ボルト・ナット 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：M12 以上 本数：2 本以上 ②溶接 溶接長さ：50mm 以上</p>
<p>内装材(上張)目地処理材</p>	<p>仕様：あり又はなし 材料：①又は①及び② ①せっこうボード用目地処理材(兼用ジョイントコンパウンド、JIS A 6914) 塗布量：100g/m以上 ②ファイバーテープ 材質：1)又は2) 1)ガラス繊維 2)紙 厚さ：0.05mm以上 幅：20mm以上</p>
<p>バックアップ材</p>	<p>仕様：あり又はなし 材料：①又は② ①ロックウール保温板(JIS A 9504) 寸法：50×60mm 以上 密度：80kg/m³ 以上 ②けい酸カルシウム保温板(JIS A 9510) 寸法：50×60mm 以上 密度：155kg/m³ 以上</p>

表4 ①～④のJIS鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	種類の記号(一部略*)
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL — 9012	BT-HT325, BT-HT355
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL — 9010	T-DAC325, T-DAC355
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL — 0128	HBL325, HBL355
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL — 0129	HBL325, HBL355
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL — 0135	HBL325, HBL355
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL — 9006	KCL A325, KCL A355
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL — 0393	CK-HYS325
建築構造用高降伏点 490N/mm ² 鋼材	MSTL — 0186	BT-HT400C
建築構造用 520MPa 級 TMCP 厚鋼板	MSTL — 0409	CK-HYS355
建築構造用 550N/mm ² 鋼材	MSTL — 0300	BT-HT385
建築構造用 550N/mm ² 鋼材	MSTL — 0413	BT-HT385
建築構造用 550N/mm ² 級 TMCP 鋼材	MSTL — 0201	T-DAC385
建築構造用 550N/mm ² 級 TMCP 鋼材	MSTL — 0392	T-DAC385
建築構造用 550N/mm ² 級 TMCP 鋼材	MSTL — 0130	HBL385
建築構造用 550N/mm ² 級 TMCP 鋼材	MSTL — 0131	HBL385
建築構造用 550N/mm ² 級 TMCP 鋼材	MSTL — 0303	HBL385
建築構造用高性能 550N/mm ² 鋼材	MSTL — 0191	KCL A385
建築構造用高性能 550N/mm ² 鋼材	MSTL — 0481	KCL A385
建築構造用高性能 550N/mm ² 鋼材	MSTL — 9003	SA440
建築構造用高性能 550N/mm ² 鋼材	MSTL — 9002	SA440
建築構造用高性能 550N/mm ² 鋼材	MSTL — 9004	SA440
建築構造用高性能 550N/mm ² 鋼材	MSTL — 9005	SA440
建築構造用高性能 550N/mm ² 鋼材	MSTL — 9001	SA440
建築構造用高溶接性高性能 590N/mm ² 鋼材	MSTL — 0120	BT-HT440-SP
建築構造用高溶接性高性能 590N/mm ² 鋼材	MSTL — 0121	BT-HT440-SP
建築構造用高溶接性高性能 590N/mm ² 鋼材	MSTL — 0122	BT-HT440-SP
建築構造用高性能 550N/mm ² TMCP 鋼材	MSTL — 0306	HBL440
建築構造用高性能 550N/mm ² TMCP 鋼材	MSTL — 0410	HBL440
建築構造用 400N/mm ² 級溶接軽量非対称 H 形鋼	MSTL — 0313	NSSWH400E
建築構造用高降伏点 H 形鋼	MSTL — 0307	NSYP255
建築構造用高降伏点 H 形鋼	MSTL — 0318	NSYP255
建築構造用 490N/mm ² 級溶接軽量 H 形鋼	MSTL — 0072	NSSWH400
建築構造用 490N/mm ² 級溶接軽量 H 形鋼	MSTL — 0312	NSYP345
建築構造用 490N/mm ² 級溶接軽量 H 形鋼	MSTL — 0319	NSYP345
建築構造用 520N/mm ² TMCP H 形鋼	MSTL — 0314	HBL-H355

* : 同一記号におけるA種、B種、C種の区別を省略したもの

※ : 一般社団法人 日本鋼構造協会 耐火構造認定適合鋼種データ集に基づく

5. 仕様の構造説明図：

仕様の構造説明図を図1～図3に示す。

図中の単位については、特記のない限り mm とする。

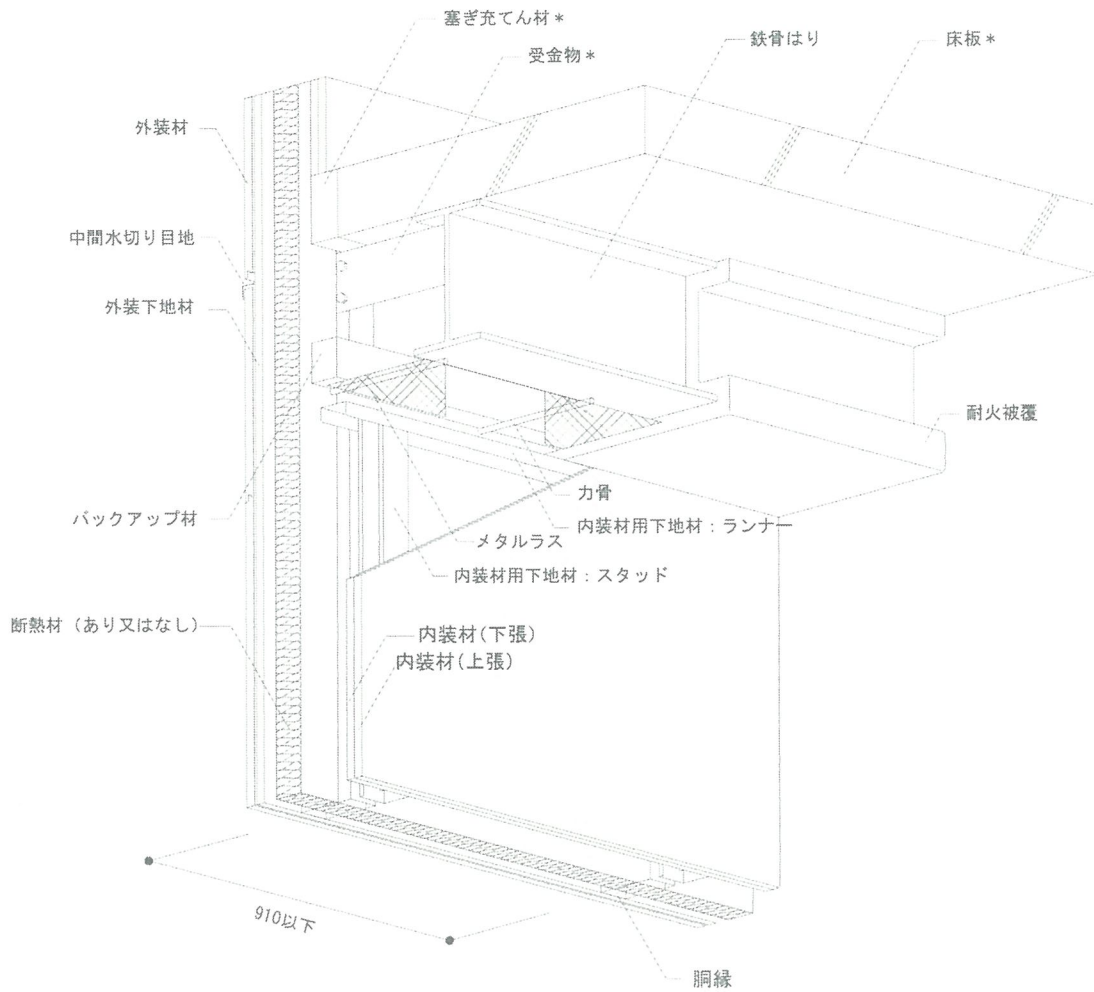


図1 構造説明図

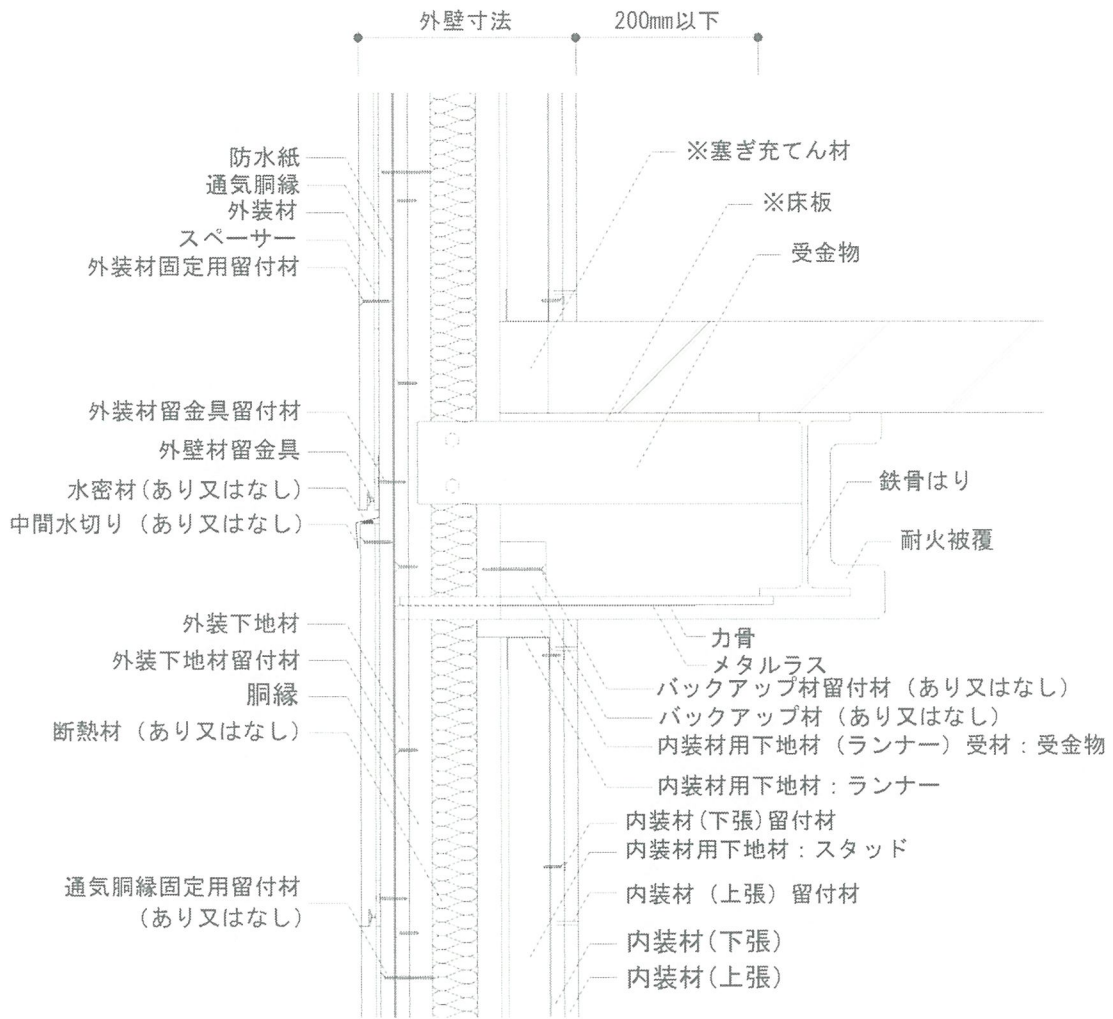


図2 構造説明図(内装材用下地材(ランナー)の固定に受金物を用いる場合)

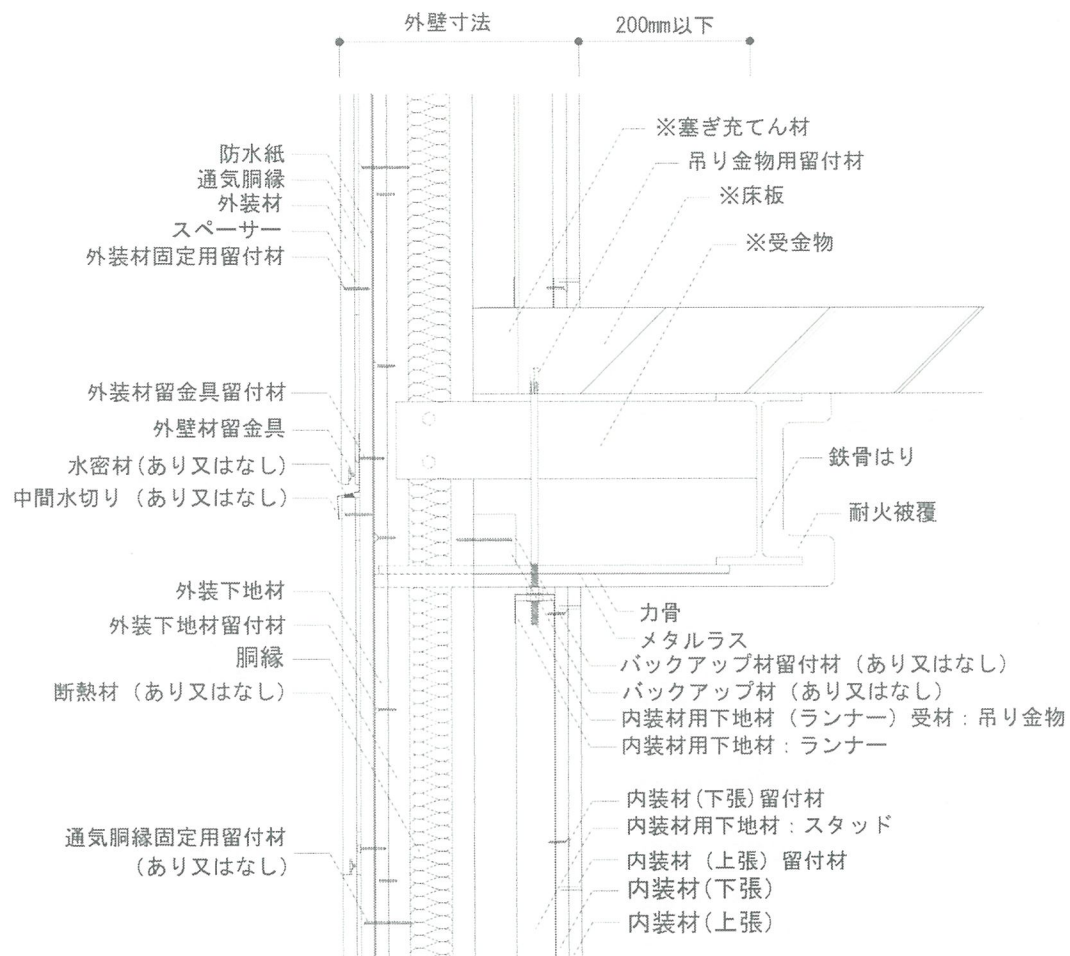


図3 構造説明図 (内装材用下地材(ランナー)の固定に吊り金物を用いる場合)

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

外壁の施工方法

(1) 下地鉄骨(胴縁)の取り付け

- ・胴縁は不陸がないように柱、間柱あるいは梁、耐風梁へ取り付ける。
- ・胴縁の間隔は910mm以下とする。
- ・外装下地材の接合部では□-100×100×2.3mm以上又はC-100×50×20×2.3mm以上を2本用いる。

(2) 外装下地材の張付け

- ・外装下地材は外装下地材固定用留付材を用いて固定する。
- ・留付間隔は鉛直方向303mm以下、水平方向は胴縁間隔に準じて留め付ける。

(3) 防水紙の張付け

- ・防水紙は横張りを原則とし、重ね代は縦90mm以上、横150mm以上とする。
- ・防水紙はステープルを用いて張付ける。
- ・張付けはできるだけたるみ、しわのないようにする。

(4) 通気胴縁の取り付け(通気胴縁を使用する場合)

- ・必要に応じて、通気胴縁は通気胴縁固定用留付材を用いて固定する。

(5) 外装材の取り付け

- ・外装材の張り方は、横張りとする。
- ・外装材の留付けは外装材留金具を用いて行う。留付方法は外装材留金具を胴縁又は外装下地材に外装材留金具固定用留付材を用いて固定し、外装材の留付けは、外装材留金具にはめ込みながら張り上げる。
- ・外装材の保持力強化のため外装材固定用留付材併用で固定する場合は、外装材留付材の留付位置にあらかじめスペーサーを取り付けておき、外装材を外装材留金具固定用留付材で留付けた後、外装材固定用留付材で増し打ちする。
- ・土台などに用いる水切り等(評価対象外)の取合いは10mm程度の隙間をあける。
- ・取り付けは、目地通りよく、不陸、目違い等のないよう行う。
- ・外装材の目地処理は以下の方法で行う。

①金属ジョイナー目地

目地幅は0.27mm～12mm以下になるようにし、金属ジョイナーを用いて外装材を固定する。

②ハット形ジョイナーとシーリング材の併用目地

目地幅は0.27mm～12mm以下になるようにし、ハット形ジョイナーを用いて、その上にシーリング材を隙間が生じないように充てんする。なお、シーリング材は56g/m以上充てんする。

③本実・合いじゃくり目地

外装材の上実・下実のいずれかの端部は相互に密着させるように固定する。

④突き付け目地

外装材は端部を密着させ、隙間が生じないように固定する。

- ・外装材の横目地処理は合いじゃくり以外に以下の方法を用いることができる。

○中間水切り目地

目地幅は10mm～15mm以下になるようにし、中間水切りを用いて外装材を固定する。

(6) 断熱材の取り付け(断熱材を使用する場合)

- ・胴縁間断熱材を隙間無く充てんする。
- ・必要に応じて熱橋部分には断熱補強を行う。

(7) 内装材用下地材の取り付け

- ・内装材用下地材は内装材用下地材固定用留付材を用いて固定する。
- ・内装材用下地材の間隔は910mm以下とする。

(8) 内装材(下張)の張付け

- ・内装材(下張)は内装材(下張)固定用留付材を用いて固定する。なお、張付けは、吹付けロックウールまで行う。

(9)内装材(上張)の張付け

- ・内装材(上張)は内装材(上張)固定用留付材を用いて固定する。
- ・内装材(下張)と目地が重ならないように千鳥に固定する。なお、張付けは、吹付けロックウールまで行う。
- ・目地部には必要に応じて内装材(上張)目地処理材を施し、平滑に仕上げる。

はりの耐火被覆材の施工

(1)準備

1)鉄骨下地の清掃

浮き錆及び付着油等、吹付けに支障をおこすおそれのあるものは十分清掃する。

2)メタルラスの貼付け(中空タイプの場合)

中空タイプの場合は吹付けに先立ち、中空形状に応じて鉄骨の周囲の吹付け面にメタルラスを貼り付ける。

3)吹付け下地の取り付け

外壁と鉄骨下地との取合部間隔が、45mm未満の場合は、その部分の吹付け下地の取り付けを必要としないが、それ以上の場合は、鉄板又はメタルラスの下地を取り付ける。

下地の取付けは、300～455mmピッチで力骨(9φmm丸鋼)の一端を鉄骨へクリップ又は溶接によって固定し、メタルラスを力骨へ緊結する。なお、内装材表面と鉄骨との間隔は175mm以上としてはならない。

(2)吹付け作業

a.工場配合の場合

吹付け機で作業階まで輸送された配合材料を、ノズル先端の周囲から噴霧化された水で包み込み、湿潤させながら均一に下地面に(中空タイプの場合は鉄骨周囲に取り付けたメタルラス等に)吹付ける。配合材料に対する水の量は0.75～1.00(重量比)の範囲とする。

b.セメントスラリーを用いる現場配合の場合

①スラリーの調整

あらかじめ水とセメントを攪拌機で混合しスラリーとする。スラリー中のセメント濃度は33%程度とする。

②吐出量の調整

ロックウール及びスラリーの吐出量を被覆材の配合にある配合を満たすように調整する。

③吹付け機で作業階まで輸送されたロックウールをノズル先端の周囲から噴霧化されたスラリーと混合しながら均一に下地面に(中空タイプの場合は鉄骨周囲に取り付けたメタルラス等に)吹付ける。

c.表面押さえ

吹付けロックウールの表面は毛羽立ちがないように、コテなどで均す。

(3)品質の確保

a.厚さの確保

吹付け作業者は、厚さ測定器で吹付け面積5m²毎に1ヶ所以上厚さを確認しながら吹付けを行う。

b.乾燥は自然乾燥とする。

取合部分の処理

鉄骨とデッキプレートの取合部は吹付け施工の際、隙間のないように施工する。

留意事項

- (1)材料運搬及び貯蔵に際し、破損、防水等に注意する。
- (2)吹付けロックウールの配合材料は、原則として1ヶ月以内に使用するものとする。
- (3)セメントスラリーは、2時間以内に使用するものとする。

7.注意事項

- ・はりの材料⑤については、最新の高温特性データが確認された材料とする。